



令和4年度 学校法人尚絅学園事業計画書

I. はじめに

尚絅学園は平成25年に向こう10年間の学園の中長期計画として「長期ビジョン（将来像）と中長期行動計画」を制定し、その後、平成27年、平成29年、令和元年及び令和3年の計4回改定を行いながら、学園のビジョンの実現に向けて取り組んできました。今回の令和4年度事業計画書は、改定した「長期ビジョン（将来像）と中長期行動計画」及び「中期財務計画」に基づき、中長期計画の総仕上げとしての諸課題への取組に加え、環境変化に伴う諸課題に適宜迅速かつ柔軟に対応し、着実に施策を実施するための年度計画になっています。

II. 主な施策

1. 学園全体・学校法人

本学園が教育研究機関として社会の要請に応え、学生・生徒等がよりよい環境で充実した学校生活を送るためには、経営力の強化による安定的でかつ強固な財務基盤の構築、人材育成の強化、施設設備及び教育・研究環境の整備が必要不可欠です。

- 経営力の強化
規律と誠実性を維持しつつ、学園を取り巻く環境変化に迅速に対応すべく、ガバナンス機能・組織マネジメントを更に強化し、組織力の結集強化に努めます。
情報公開を積極的に進め、学園の経営状況のさらなる可視化を図ってまいります。
- 強固な財務基盤の構築
安定した収支バランスを確保・維持していくための実効性のある施策を立案し、着実に実施することで、強固な財務基盤の構築を目指します。
現状の経常収支を改善し、収支のバランスの適正化に向け、各設置校における定員充足率向上による学生生徒等納付金の増加、補助金の積極的な獲得、適切な人件費支出、教育の質向上に資する教育研究・管理経費等の支出に取組みます。また、予算執行については、コンプライアンスに基づき、厳正かつ正確な処理に努めます。
- 人材育成の強化
学園・設置校に有為かつ適正な人員を確保しつつ、多様化する学生・生徒等への柔軟で的確な人材の育成を目指します。
その為に必要なる人材育成計画の構築と有効な研修の計画的実施、教職員一人ひとりの資質・能力向上と職能開発の促進に努めます。
- 施設設備及び教育・研究環境の拡充
中期施設整備計画に則り、教育・研究環境の拡充に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策、DX推進プロジェクトによるICT環境やインフラ整備に取り組めます。

2. 尚絅大学・尚絅大学短期大学部

令和4年度は、「長期ビジョン（将来像）と中長期行動計画」の最終年度に当たり、スピード感をもって積み残された課題に取り組むとともに、10年間の成果と課題を明らかにし、変化する時代に相応しい第2期の「中長期計画」を作成します。

- 入学定員の確保
本学の課題である入学定員の確保については大きく後退しており、全力で入学定員充足率の引上げを図ります。そのために、高校生及び社会のニーズに即応した入試広報体制の整備に努めるとともに、各学部・学科の独自性を生かした魅力度アップに取り組めます。
- 教育と学修
教育と学修については、対面授業を基本にしつつ遠隔授業のよいところやDXなどを取り入れ、学修成果の見える化や学修効果の得られる学修環境の整備に引き続き取り組みます。研究については、引き続き、産学官の連携に基づく共同研究の推進、外部資金の獲得及び研究倫理の遵守に取り組めます。社会連携に関しては、尚絅食育研究センター、尚絅子育て研究センター、尚絅ボランティア支援センターの活動を活性化するとともに、尚絅地域連携推進センターの機能強化を図り、社会的貢献の諸活動を推進し、本学の地域社会での存在感をさらに高めます。また、尚絅食育推進プロジェクトやくもモン学プロジェクトについては、組織の充実を図りながらさらに研究活動を推進し、研究成果を発信します。グローバル化推進については、現地での学びや交流に加え、オンラインを有効に活用することにより、一層の推進を図ります。
- IR及び自己点検
IR及び自己点検に関しては、内部質保証の課題に適切に対応できるよう、委員会の設置等体制を整え、PDCAサイクルが効果的に回るよう努めます。

3. 尚絅中学・高等学校

令和4年度は、コロナウイルス感染拡大防止による環境変化、また、それに伴う教育活動の変化、今年度より実施される新学習指導要領に基づいた授業展開など目まぐるしく変化する教育界において、今までの事業計画を踏まえて、さらなる事業内容の充実と新しい事業の取り組みを以下のように策定しました。

- 特色ある教育の確立
特色ある教育の確立については、「建学の精神」「教育理念」を基に、新しい生活様式の中、様々な取り組みを通して知識・技能・思考力等のバランスの取れた生徒の育成に努めると共に、DXの推進、また生徒の学力向上及び教師の指導力アップを念頭に置き、生徒が満足する教育活動に取り組めます。また、知育・徳育・情操教育を中心に女子教育の充実を図り、これからの新しい社会に向けて必要な能力が身につく取り組みを行い、グローバルな社会で活躍できる人材育成を目指します。
- 教育の質向上
教育の質向上については、生徒に「何ができるようになるか」という具体的な目的を明確に示すことにより「何のために学ぶのか」という学習の意義を生徒が自ら考えるような授業展開を行います。その為に新学習指導要領に対応したカリキュラムを確立するとともに、今年度高校入学生より購入するタブレットを用いた授業内容や教育の質の向上のためのプログラム作成、また、オンライン学習の研究を深め、新しい生活様式を取り入れながら学校行事や課外活動、広報活動に取り組めます。また、生徒の将来に深く関わるキャリア教育の充実にも努め、これからの社会で活躍するために必要となる資質の向上を目指した人材育成に努めます。
- 生徒支援の確立
生徒支援の確立については、令和2年度に改正された就学支援金制度の内容を視野に入れて、生徒が安心して学べるように経済的に就学困難な生徒への各種制度を充実させると共に、育友会・同窓会・後援会との連携を一層深めて生徒の日常の学業・課外活動等の支援体制を整えます。
- 地域貢献の充実
地域貢献の充実については、社会のニーズに応じて環境活動や地域社会に積極的に参加できる人材を育成すると共に、地域に開かれた学校として学校の特色を活かした地域の行事への参加、ボランティア活動、及び各種大会を主催して地域への活性化に貢献します。
- 学習意欲あふれる生徒の確保
学習意欲あふれる生徒の確保については、女子の総合学園として短大・大学への内部進学を希望する生徒の募集に力を入れると共に、様々な生徒を広く受け入れるためにコース毎の魅力を再検討します。公立小学校・中学校に加えて学習塾や地域、生徒・保護者広報部との連携を深め、広報活動の充実を図ります。
- 学校評価
学校評価の意義と目的を全職員が理解して、学校運営に反映させ、より良い学校作りに活かします。

4. 尚絅大学短期大学部附属こども園

附属こども園では、「認定こども園教育・保育要領」等3法令の改訂等の趣旨を受け、教育・保育の目標達成をめざし尚絅らしさを生かした改善・充実に努めるとともに、在園児保護者と地域保護者の支援に努めるという2つの目的の達成に努めています。

- 教育・保育
「尚絅らしさ」を「子どもの発育にふさわしい自然の風情をそのままに生かし、環境の構成（教育的な意図）を創造し、子どもの心身の発達を助長すること」と捉え、今後もこの「尚絅らしさ」を軸に、保育者全員が温かい愛情に満ちた教育・保育を推進します。令和2年度から3年度にかけて、「食育の計画」「給食の計画」等とも連動させた教育・保育の「全体的な計画（教育課程）」を完成させました。今後は、これを基に尚絅らしい教育・保育の実践段階に入ります。コロナ禍中においては、計画通りにいかないことも多く、その都度、教職員や保護者のみなさまのご意見と工夫・協力で乗り切ってきているところです。
- 保護者支援
日頃の教育・保育の充実やPTA（杉の子会）との協力と共に、在園児保護者にも地域保護者にとっても安心できる子育て支援を「どんぐりルーム」や子育て相談会等で推進しています。ここ数年、特別な支援を必要とする園児や配慮・支援を要する保護者が増えています。そこで、園児の安全性の確保や発達特性に応じた教育・保育の対応力の向上、療育との連携・協力、保護者の相談事業等とはもとより、保育者数を確保することが急務となっています。
- 園児数の確保と収支改善
近隣地域は海外からの進出企業の影響等もあり、熊本市のベッドタウンとして人口が増加し少子化の影響は少ないものの、共稼ぎ家庭の急増に伴い1号園児が減少し小規模保育所の需要が増えています。本園では1号園児数を確保するために、従来の在園児に加えて卒園児の弟妹枠を設けましたが定員に満たず、令和3年度には保護者の需要に応じて「一時預かり保育」の人数増を行い新2号園児の確保に対応しました。今後は、必要な教員数を年度当初に確保した上で、園児数の確保のために満3歳児の受け入れ人数増や、暫定的に2号・3号園児の定員120％までの受け入れ、将来的には定員の見直し等の対応に迫られています。
- 保育者の確保
全国的な保育者不足であり、本園でも保育者確保ができないと園児の確保もままなりません。国はこれまでの処遇改善事業に加えて「処遇改善臨時特例事業」を始めて保育者の待遇改善を図り確保をめざしています。本園でもこれらの事業を活用して国が求めているレベルの処遇にすることが急務です。
- DX推進課
動画を作成・配信したり、Zoomで登園自粛中の家庭とmeetingをしたり、一時預かり保育のメール受付等を行ないながら、保育者や保護者の利便性を高めています。さらに、ソフトの選定・導入等できるところから取り組んでいます。広報誌やHP欄の充実、地域社会や自治体・市町教委、小・中学校、諸機関との連携、学校評価を生かした教育・保育の改善にも取り組みます。最後に、令和5年度からの4年制新学部新設を見据えて、教育実習の在り方の改善・開発の協議も始まっています。今後とも、学校法人としての社会貢献度を高め、附属園の使命として次世代保育者の育成に努めます。



尚絅大学・尚絅大学短期大学部 イベント情報

大学オープンキャンパス2022

開催日 令和4年7月24日(日)、7月31日(日)、令和5年3月25日(土)

対象 高校生および受験希望者とその保護者

時間 午前10:00-12:00 / 午後13:30-15:30

申込 事前予約制

申込方法 本学ホームページ



ホームページ



※新型コロナウイルス感染症等の状況により、変更等を行う場合がございます。
※申込締切後に参加をご希望の場合は、入試センター(TEL:096-273-6300)までご連絡ください。

場 所

九品寺キャンパス

〒862-8678 熊本市中央区九品寺2-6-78
TEL 096-362-2011 FAX 096-363-2975

学部学科

現代文化学部
文化コミュニケーション学科

生活科学部 栄養科学科

短期大学部 総合生活学科

短期大学部 食物栄養学科

場 所

武蔵ヶ丘キャンパス

〒861-8538 熊本県菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2-8-1
TEL 096-338-8840 FAX 096-338-9301

学部学科

こども教育学部 こども教育学科(仮称)
※2023年4月開設予定(設置認可申請中)

短期大学部 幼児教育学科

【お問い合わせ先】 入試センター TEL:096-273-6300 FAX:096-273-6781 E-mail:nyushi@shokei-gakuen.ac.jp

尚絅中学・尚絅高等学校 イベント情報

中高オープンスクール・説明会

オープンスクール	第1回	開催日	時間
	第2回	7月23日(土)	9:30～
	第3回	8月 6日(土)	9:30～
ナイト説明会	第1回	9月10日(土)	9:30～
	第2回	11月 4日(金)	18:30～
入試説明会	第1回	12月 2日(金)	18:30～
	第1回	11月12日(土)	9:30～
	第2回	11月19日(土)	9:30～

対 象:小中学生とその保護者

申 込:事前予約制。各中学校からのFAX又はホームページより申込み可能です。

内 容:学校紹介・コース紹介、部活動紹介、入試説明、校舎見学、個別相談

場 所:尚絅中学・高等学校(九品寺キャンパス)

※状況によって中止、または開催方法等の変更の可能性があります。

変更する場合は本校ホームページでお知らせいたします。

※個別の学校案内、Web個別相談はホームページから随時申込可能です。

申込方法 本校ホームページ



ホームページ

【お問い合わせ先】 中高事務室 TEL:096-366-0295 FAX:096-372-8341 E-mail:jhjimush@shokei-gakuen.ac.jp